



【保護者の皆様へのお願い】 ※熱が37度以上の時は登校を控えてください。
○生徒の健康状態を把握するため、「健康観察カード」に毎朝の検温結果、健康状態を記入しています。ご家庭でのご協力をお願いします。

9年生 卒業おめでとう ～105名の新たな出発～

3月11日（金）第47回卒業証書授与式が行われ、105名の9年生が新たな進路に向かって旅立っていきました。

～ 校長式辞 「自粛と制限に日々を乗り越えて」～ （一部抜粋）

コロナウィルスとの戦いは、もう2年を越えようとしています。生活の半分以上が自粛と制限の日々でした。将来、私たちは「この何年間か」を、どのように振り返ることになるのでしょうか。

容易に想像がつかないのが「**多くのものが失われた時代**」として、分かったかのように、一括りにされてしまうことです。けれどもこれは、「結果」という小さな窓から物事を捉えようとする見方のひとつでしかありません。大切な事は、その時間が、皆さんにとって「**価値あるもの**」であったかどうかという事です。

人は、大きな困難に相対したときに、**2つの道のどちらか**を選びます。

・一つは、「〇〇だからできない。できるわけない」と**出来ない理由を見つけ、前への一歩を止める道**。

・もう一つは「できないなら、こうやれば出来るようになる。これならできる」と**出来る理由や方法を探しだし、新たな一歩を踏み出す道。挑戦する道**。

みなさんは、この2つのどちらを選んだのでしょうか。わたしは後者だと確信しています。（中略）

みなさんが感じた「**充実感**」や「**しあわせ**」は、様々な制限や自粛の中で生きたからこそ味わうことのできた**価値あるもの**です。どうか忘れずに持ち続けてください。そして、いつか将来、

「コロナでいろんなものがなくなり、かわいそうな中学校生活だったのね」と問われたなら、にっこりと、胸を張ってこう答えてください。「そんなことはありません。私たちは、みんな輝いていました。充実し幸せな、価値ある時間を過ごせた中学校生活でした！」と。



～ 「卒業生別れの言葉」 宮崎楓子さん（第47代生徒会会長）～ （一部抜粋）

何気ない日常のありがたさ、儚さを学び、毎日が本当に失い難い宝物であることに気づかされました。

もし過去に戻れるのなら、コロナウィルスのない以前の生活に戻りたい、そう思う一方で、今の生活に慣れ、以前の生活に違和感を抱いてしまう自分もいます。これから私たちができること、それは前に戻るのではなく、先に進むこと、新しい未来をつかっていくことです。今が大好きだと胸を張って言えるよう、精一杯行動していくことが私たちの役目だと思います。



～ 「東西小6年生へのメッセージ」 深迫蒼さん（第47代HR委員長）～

←←卒業式の様子は、小学6年生へリモート配信されました。「卒業の歌」の場面では、卒業生を代表し深迫蒼さんが「6年生へのメッセージ」を述べました。

